地域再生計画（地域再生基盤強化交付金）事後評価調査

都道府県名	栃木県	事業実施主体	栃木県、那須塩原市	地域再生計画名	那須塩原市「安全で快適なまち 那須塩原」
計画期間	平成22年度～平成26年度	評価責任者	栃木県那須塩原市建設部長 君島 勝		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価		
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	観光客入込者数の増加	930万人	H20			995万人	H26	980万人	△	平成23年3月の東日本対震災の影響により、観光客が激減したため、目標達成には至らなかった。	
	指標2	拠点間の連続性を強化し、交通渋滞の緩和を図る	那須塩原駅から塩原温泉の連絡時間	55分	H21			50分	H26	5分短縮した	○	計画どおり整備することができ、目標を達成することができた。
			那須塩原駅から板室温泉の連絡時間	45分	H21			40分	H26			
			黒磯駅から板室温泉の連絡時間	40分	H21			35分	H26			
指標3	緊急車両等、交通障害箇所の解消を図る	病院間連絡・搬送時間を5分短縮		H22			病院間連絡・搬送時間を5分短縮	H26	5分短縮した	○	計画どおり整備することができ、目標を達成することができた。	
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	—										
	指標2	—										
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度(H)	最終実績							
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業		21.0km		18.9km	計画した整備量は達成できなかったものの、今回の整備により、他の道路との交通ネットワークが形成され、拠点間の連絡性が強化されるとともに交通渋滞の緩和を図ることができた。						
	林道整備事業		0.04km		0.04km	今回の林道の整備により、森林整備の推進を図ることができた。また、市道と一体的に整備したことにより、観光拠点である塩原温泉や板室温泉の周遊性の向上を図ることができた。						
その他の事業	まちづくり交付金事業（西那須野駅西地区）※事業名が都市再生整備計画事業に変更		○道路事業（市道疏水通り線 延長300m、市道扇町786号線 延長115m） ○地域生活基盤施設事業（駅西口駐車場 平面駐車場A=2,800㎡95台、一本杉ふれあいスペース 休憩施設A=101㎡平面駐車場A=84㎡7台）			道路事業により、バリアフリー化した歩道空間が形成され、幼児から高齢者まで安全で安心な歩行環境が創出され、歩行者数の増加につながった。また、まちの賑わいや商業活性化等に寄与し、空き店舗数の減少にもつながった。さらに、駅西口駐車場や一本杉ふれあいスペースが整備されたことにより、イベント時の来訪者や買い物客などの利便性の向上につながった。						
	元気な森づくり支援事業		子どもたちを対象とした森林観察会や森づくり体験活動の実施			地域の間伐材使用を条件とする森林観察会や森づくり体験活動が平成23年3月の東日本大震災の原発事故による放射能汚染の関与、保護者等からの心配の声により、現在、事業の一時中断を余儀なくされている。						
	塩原温泉観光マスターの育成		ボランティアガイドによる温泉街の活性化を図る			「塩原温泉観光マスター学院」において育成した、塩原温泉観光マスターによるボランティアガイドと、平成22年度からの、身につけた知識を自分の言葉で伝えるガイド技術の習得を目的とした「伝える人養成講座」において育成した伝える人によるガイドにより、温泉街の活性化を図っている。						
計画外で独自に実施した事業	—		—			—						
④評価方法	指標とする数値を収集し、データを分析することにより目標達成状況及び事業効果について評価した。											
⑤事後評価の公表方法	那須塩原市道路課のホームページに掲載											
⑥計画全体の総合評価	事業全体としてみれば、概ね計画どおり整備が図られ、「安全で快適なまち 那須塩原」の創出に一定の成果を得ることができた。しかし、個別の事業においては、地域再生計画の目標値には至らないものもあった。なかでも観光客の入込者数においては、平成23年3月の東日本大震災という不測の事態の影響により、大幅に観光客が減少してしまった。なお、その後、平成24年からは増加に転じている。											
⑦今後の方針等	今後も引き続き市域における安全で円滑な交通を確保することにより、新たな人を那須塩原市に呼び込むとともに定住を促進し、「選ばれるまち」を目指して、安全安心なまちづくりに取り組んでいきたい。											